



第26回日本心不全学会学術集会

知と心かよわすその先へ～人々のハピネスを求めて～

ハートチームシンポジウム

01. チーム医療の現状と未来に向けた工夫

座長： 弓野 大（医療法人社団ゆみの）

吉田 俊子（聖路加国際大学 看護学部）

循環器病対策推進計画が策定され、その中において心疾患患者の就労支援は重要な課題である。適切な支援による職場復帰はQOL向上に大きく寄与する。心不全患者が疾患と向き合い仕事と就業を行うために医療チームが行うべき支援について議論を深めたい。

02. 目指そう！そして活かそう心不全療養指導士

～心不全療養指導士の魅力に迫る～

座長： 佐藤 幸人（兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科）

眞茅 みゆき（北里大学 看護学部）

心不全患者は、超高齢化の進行により医学的な要素以外に問題がある患者も増加している。そこで多職種の人材育成のひとつとして、「心不全療養指導士」資格が創設された。病院に限らず在宅をはじめとした地域など様々な場面で幅広く活動し、心不全再入院予防、QOLの改善を図ることが期待されている。